

こころに残る景観資源発掘委員会の概要

①こころに残る景観資源発掘委員会の開催状況及び主な議事内容

開催日		主な議事内容
第1回	2022/7/19	<p>(応募作品選考時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田の「歴史・文化景観」を指定するにあたって、今まで取り組んできたこともあり、特別新しいものはない。 寺社仏閣についての歴史や文化の判断はむずかしい。 過去に指定している作品と同じ視点場であっても、シーンや時間帯などが異なるものであれば「歴史・文化景観」での指定は可能ではないか。 視点場が一般の方の立ち入りができない作品は「歴史・文化景観」としては選外とする。 「歴史・文化景観」で先行されなかったものも、「その他 景観」として指定することも可能とする。 <p>→机上で、各委員 8 件を選定し、1 委員でも選定した作品 (19 件) と過去の選考漏れ作品 (4 件) を現地等確認する作品として一次選考通過とする。</p>
第2回	2022/8/4 (現地調査)	<p>→現地調査 (19 件+動画確認 4 件) の実施</p> <p>(現地調査時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 久米田池やお寺、そして、岸和田城にも登ったが感動した。 選定するにあたって、ある程度その歴史などを知ったうえで評価したい。 岸和田の「歴史・文化景観」というテーマで先行するのであれば、岸和田にとって大事なものを指定したい。 「その他 景観」については、案件も多く見落としている可能性もあるので、これまで携わってきた事務局の案も参考に選考したい。
第3回	2022/8/30	<p>→一次選考した作品 (15 件) から「歴史・文化景観」推薦候補の選出と、過去の選考漏れとなっている作品から「その他 景観」として選出し推薦する。</p> <p>(推薦候補作品審査時の主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの景観資源を知ってもらうため、過去に指定されたものと異なる新たな視点となっているか (重複していないか) を確認する。 視点場が一般の方の立ち入りができない作品は「その他の景観」とする。 <p>→推薦候補として、「歴史・文化景観」11 件、「その他 景観」6 件を選出し、講評案及び総評案を作成。</p>

②こころに残る景観資源発掘委員会 現地調査の様子



小金塚古墳



摩湯山古墳



杉江能楽堂